
目次

- 【01】 OFIX からのお知らせ
 - 外国人のための「1日インフォメーションサービス」(無料)
 - 通訳・翻訳研修と災害訓練・多言語支援センター設置訓練開催のお知らせ
- 【02】 事業報告
 - 地域交流会オリオン寮ウエルカムパーティー
 - 平成23年度ボランティア派遣実績報告
- 【03】 JICA からのお知らせ
 - JICA 関西の設立について
- 【04】 大阪府外国人情報コーナーだより
 - 外国人登録証明書の有効期限
- 【05】 OFIX 国際交流員のレポート
 - サマータイム・イン・ザ・フィリピン

【01】 OFIXからのお知らせ

- 外国人のための「1日インフォメーションサービス」(無料)

日本で暮らす外国人の多くは、母国と異なる社会や教育制度、公的機関等での手続きなど、日常生活の中で多くの不自由を感じています。こうした外国人の不便や悩みを解消し、大阪で快適に暮らせるよう、各方面の専門機関(外国人の住みやすい大阪を考える関係機関等連絡会議)が一堂に会して外国人からの相談に応じる「1日インフォメーションサービス」を今年も実施します。会場では、通訳ボランティアのサポートにより、法律、人権、出入国・在留、労働、職業、保険年金、生活、市政、税金、医療、歯科、薬剤、進学、子育て、その他生活一般に関わる相談を無料で、9言語で相談できます。

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

日時：2012年6月24日(日) 11:00-17:00
(受け付けは16:30まで)

会場：大阪国際交流センター(International House Osaka) 2F

住所：大阪市天王寺区上本町8-2-6

対象：在阪外国人及び関係者(一般・学生・その他在留資格は問いません) 秘密厳守

- * 相談は無料です、1日で何回でも色んな相談を受けることができます。
- * 事前申し込みは不要、当日会場へ直接お越しください。
- * お知り合いの外国人の方にも積極的にご紹介ください。

主催：1日インフォメーションサービス実行委員会

大阪法務局、大阪入国管理局、大阪労働局、日本年金機構大手前年金事務所、全国健康保険協会大阪支部、大阪府、大阪市、大阪弁護士会、大阪府行政書士会、(社)大阪府医師会、(社)大阪府歯科医師会、(社)大阪府薬剤師会、大阪商工会議所、近畿税理士会、大阪府社会保険労務士会、(独法)日本学生支援機構大阪日本語教育センター、大阪市立子育ていろいろ相談センター、(特活)関西国際交流団体協議会、(公財)大阪府国際交流財団、(公財)大阪国際交流センター ほか(順不同)

お問い合わせ：公益財団法人大阪府国際交流財団
企画推進グループ

電話：06-6966-2400
Eメール：info@ofix.or.jp

■留学生のための通訳・翻訳研修と災害訓練・多言語支援センター設置 訓練開催のお知らせ

府内の外国人留学生のための通訳や災害翻訳のスキルアップ研修と、災害への対応や防災の心得、負傷者応急手当てについて学ぶ災害訓練、災害時の関係機関への連絡・情報共有等について学び、通訳・通訳の実践を行う多言語支援センター設置訓練と研修を下記の要領で開催します。

①通訳・翻訳研修

【日時】2012年6月16日（土）9：30-16：30

【内容】※講座の内容は変更になる場合がございます

午前：通訳の心構えと通訳トレーニング

午後：災害用語と災害時の予備知識について、翻訳ワーク

【募集対象・定員】留学生等外国人 40 名程度

（国籍不問、応募者多数の場合は抽選）

※通訳、翻訳を行って頂きますので、母語の他に、日常生活に必要な日本語運用能力が必要となります

※言語は限定しません

【申込締切】2012年6月10日（日）必着（応募状況によっては、締切を前後する可能性もあります。）

②災害訓練・多言語支援センター設置訓練

【日時】2012年6月30日（土）10：30-16：30

【内容】※講座の内容は変更になる場合がございます

災害訓練

午前：避難所体験

昼食：非常食体験

午後：災害や防災についての講義など

多言語支援センター設置訓練

午前：多言語支援センターとは？

昼食：非常食体験

午後：災害時翻訳体験など

※どちらの訓練に参加して頂くかはこちらで決めさせて頂きますので予めご了承ください。

【募集対象・定員】留学生等外国人 50 名程度

（国籍不問、応募者多数の場合は抽選）

※多言語支援センター設置訓練には16日の受講者にご参加頂きます。尚、30日のみ参加される方で、多言語支援センター設置訓練を希望される方は、通訳、翻訳を行って頂きますので、母語の他に、日常生活に必要な日本語運用能力が必要となります

※言語は限定しません

【申込締切】2012年6月20日（水）必着（応募状況によっては、締切を前後する可能性もあります。）

【場所】堺留学生会館（堺市北区東上野芝町 2 丁 226

番 JR 阪和線上野芝駅から北東へ約 400m）

<http://www.ofix.or.jp/shien/index.html>

募集要項と申込書は、OFIX のホームページの最新情報からダウンロードすることができます。

詳しくは <http://www.ofix.or.jp/>

【02】事業報告

■交流会オリオン寮ウエルカムパーティー

5月12日（土）大阪府堺留学生会館オリオン寮にて「地域交流会オリオン寮ウエルカムパーティー」が開催されました。オリオン寮生、自治会近隣の皆様、大阪府立大学国際交流サークルオリオンのメンバー等約70名の方が参加されました。大阪府北堺警察署の方から防犯指導を受け、寮生と日頃からお世話になっている地域の方々や日本人学生達が歌や書道、ゲーム等を楽しみながら交流を深めました。大阪府国際交流・観光課の方々がたこ焼きブースを設け、たこ焼きを初めて体験する

留学生達に焼き方の指導をしてくださり、熱々のたこ焼きを美味しくそうに頬張っていました。ピアノ演奏や、歌の披露、ビンゴゲームで景品を獲得し、笑顔いっぱいの楽しいパーティーとなりました。

■平成 23 年度ボランティア派遣実績報告

OFIX では、府民のみなさんが各種のボランティア活動に参加することにより、国際理解と地域における外国人支援を促進することを目的とした、『OFIX ボランティア登録制度』の運営を行っており、平成 23 年度には登録者が 772 名、語学ボランティア 104 名、文化ボランティア 5 名派遣、ホームステイ/ホームビジット50家庭紹介の実績となりました。特に昨年度は、在住外国人支援における通訳・翻訳の必要性の高まりから、コミュニティ通訳としての語学ボランティアの派遣要請や災害時/災害対策用翻訳依頼が語学ボランティア全体の75パーセントを占めており、ニーズの多さが目立つ結果となりました。これを受け、当財団では、23年度から行ってきたコミュニティ通訳ボランティア研修や災害時通訳・翻訳ボランティア研修などの取り組みを今年度も引き続き行いながら、地域の外国人支援と国際理解の促進を目指します。

【主な活動内容と依頼者等】

- 語学ボランティア
 - ・海外血液事業研修 英語通訳 (大阪府赤十字血液センター)
 - ・「外国人のための一日インフォメーションサービス」(大阪国際交流センター&OFIX) 英語/中国語/韓国・朝鮮語/スペイン語/フィリピン語/ポルトガル語/ベトナム語/タイ語通訳
 - ・小学校授業補助 中国語通訳 (藤井寺市教育委員会)
 - ・保護者面接 スペイン語通訳 (中央子ども家庭センター)
 - ・保護者懇談 ペルシャ語/アラビア語 通訳・翻訳 (箕面市役所)
 - ・「避難所会話シート」 翻訳 (大阪府国際交流・観光課) 英語/中国語/韓国・朝鮮語/スペイン語/フィリピン語/ポルトガル語/ベトナム語/タイ語

文化ボランティア

- ・国際交流茶会 着付け体験
((社) 茶道裏千家淡交会大阪西支部なみはや青年部)
- ・奨学生親睦交流会 和楽器演奏
(大遊協国際交流・援助・研究協会)

ホストファミリー受入ゲスト国籍

シンガポール・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・インド・オーストラリア・ニュージーランド・インドネシア、スリランカ、タイ、ネパール、中国、韓国、ベルギー、フランス、オランダ、スウェーデン等、他多数

★皆様のご協力ありがとうございました★

【03】JICA からのお知らせ

■JICA 関西の設立について (JICA 大阪の閉館及び JICA 兵庫への移転・統合)

兵庫・神戸は古くから日本の代表的な港として、海外との交流・協力の先進地域であり、外国人を多く受入れて共生し、南米への移民を送り出してきたことなどから、関西の中でも特に市民や自治体・大学・研究機関・企業などによる国際協力への支援と理解が得られやすい地域特性があります。

JICA は、1973年8月に須磨に旧兵庫インターナショナルセンターを設立して以来、ここ兵庫において、開発途上国からの研修員受入れを中心に政府開発援助 (ODA) を実施してきました。阪神・淡路大震災後、その復興プロジェクトとして整備された神戸東部新都心 (HAT 神戸) に移転して、2002年4月に兵庫国際センター (JICA 兵庫) を開館しました。そして、先般の「事業仕分け」を受け、2012 年度からは、旧 JICA 大阪を閉鎖して JICA 兵庫へ統合し、JICA 関西とすることが決まりました。

関西における JICA 事業の総合窓口として、関西と開発途上国との架け橋になるべく、地域の皆様のご協力を得ながら国際協力事業を展開していきます。JICA 関西には、事務所のほかに、研修施設と研修員のための宿泊施設 (シングル: 92室 ツイン: 4 室 (バリアフリー2室を含む)) があり、年間約 1350 人が滞在しています。

なお、地域に開かれたセンターとして、1階のJICAプラザ関西 (広報展示

室・資料室・食堂・入口ロビー)は、どなたでもご利用いただけます。簡単な展示施設や月替わりのエスニック料理も食べられる食堂もあります。海を臨む JICA 関西へ、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

【ホームページ】

<http://www.jica.go.jp/kansai/office/plaza.html>

【お問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構関西国際センター
(JICA 関西)

〒651-0073

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

Tel : (078) 261-0341 (代)

Fax : (078) 261-0342

E-mail : jicahic@jica.go.jp

【アクセス】

- ・ JR 灘駅から南へ徒歩約 12 分
- ・ 阪神岩屋駅から南へ徒歩約 10 分

【04】OFIX国際交流員のレポート

■外国人登録証明書の有効期限

今年の7月9日から中長期在留の外国人住民の方は、外国人登録管理制度から住民基本台帳法の適用対象となります。一定の期間はその時点で有効な外国人登録証明書は続けて利用することができますが、その期間は在留資格や年齢により異なりますので、注意が必要です。「在留カード」は入国管理局で交付されます。

在留資格 永住者	外国人登録証明書の有効期限 2015年(平成27年)7月8日まで 16歳未満の人は2015年(平成27年)7月8日 または16歳の誕生日のいずれか早い日まで
それ以外の 在留資格	在留期間の満了日 16歳未満の人は在留期間の満了日または16歳の誕生日のいずれか早い日まで

また、特別永住者の方については、外国人登録証明書に記載されている「次回確認(切替)申請期間」の始期である誕生日が改正法の施行日から3年以内の場合は、2015年7月8日までとなります。3年を超える人の場合は、外国人登録証明書の「次回確認(切替)申請期間」始期の誕生日までとなります。特別永住者の方はお住まいの市町村役所で「特別永住者証明書」が交付されます。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月-金曜日(祝日を除く))

(対応時間: 9:00-17:30)

専用電話: 06-6941-2297 F A X : 06-6966-2401

E-mail : jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

【05】OFIX国際交流員のレポート

■サマータイム・イン・ザ・フィリピン

皆さんこんにちは。OFIXの国際交流員のアルビンです。涼しくなったり温かくなったりしていましたが、皆さんは元気に過ごしているでしょうか。今月は「サマータイム・イン・ザ・フィリピン」フィリピンの夏についてお話ししたいと思います。この時期に夏の話をするのなんて早くないかと考えている方もいると思いますが、実はフィリピンの夏は4月から5月までです。この時期が一番暑いです。この間帰国した時は一番暑かった日は38℃ぐらいだったそうです。夏の時期は雨が滅多に降らないが、今年はまだ5月なのに雨はよく降ります。

学生にとっては夏が一番長い休みでもあるので、一番楽しみにしています

